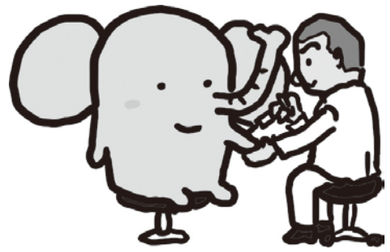
3月1日㈯～7日㈮は 子ども予防接種週間

問い合わせ　社会健康課☎㊾2140



予防接種は、感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止などを目的としています。接種できる期間を外れると自費になりますので、期間内に接種しましょう。

接種歴は、母子健康手帳で確認してください。接種するには予診票・接種券が必要です。お持ちでない方は、母子健康手帳を社会健康課へ持参の上、申請してください。

定期予防接種の対象者および接種期限

接種別		対象		接種期限
四種混合（DPT－IPV）	ジフテリア 百日咳（ぜき） 破傷風 不活化ポリオ	生後３カ月以上 90 カ月（７歳６カ月）未満 ※　原則、平成 24 年８月１日生まれ以降の乳幼児が対象です。		
三種混合（DPT）	ジフテリア 百日咳（ぜき） 破傷風	生後３カ月以上 90 カ月（７歳６カ月）未満 ※　原則、平成 24 年７月 31 日以前に生まれた乳幼児が対象です。		
二種混合（DT）	ジフテリア 破傷風	11 歳以上 13 歳未満		
不活化ポリオ（IPV）		生後３カ月以上 90 カ月（７歳６カ月）未満 ※　四種混合ワクチンを接種する乳幼児は、接種する必要はありません。		
麻しん風しん混合（MR）	第１期	生後 12 カ月以上 24 カ月未満		
	第２期	小学校就学前の１年間	平成 19 年４月２日～平成 20 年４月１日生まれ	３月 31 日㈪まで
日本脳炎	第１期	生後６カ月以上 90 カ月（７歳６カ月）未満		
	第２期	９歳以上 13 歳未満		
	特例対象者	20 歳未満	平成　７年４月２日～平成 19 年４月１日生まれ ※　ただし、第２期は９歳以上で接種します。	
ＢＣＧ		生後 12 カ月未満		
子宮頸がん予防ワクチン ※　現在、積極的には接種を勧めていません。接種に当たっては、有効性とリスクを理解した上で受けてください。		中学１年生相当の女子	平成 12 年４月２日～平成 13 年４月１日生まれ	
		中学２年生相当の女子	平成 11 年４月２日～平成 12 年４月１日生まれ	
		中学３年生相当の女子	平成 10 年４月２日～平成 11 年４月１日生まれ	
		高校１年生相当の女子	平成　９年４月２日～平成 10 年４月１日生まれ	３月 31 日㈪まで
ヒブワクチン		生後２カ月以上５歳未満		
小児用肺炎球菌ワクチン		生後２カ月以上５歳未満		

病児・病後児保育

問い合わせ　福祉課☎㊾2148

広島西医療センターに委託して４月８日から病児・病後児保育を実施します。

とき

月曜日～金曜日（土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く）の８時15分～18時

ところ

広島西医療センター内病児保育室

対象　満１歳以上から小学校３年生までの保育所、幼稚園、小学校に在籍している病気または病気の回復期にある児童で、次の①または②に該当する児童。

① 市内に住所を有する児童

② 保護者が、市内にある事業所に勤務している児童

料金

○対象児童①の場合　1、000円

○対象児童②の場合　2、000円

事前登録（3月開始予定）

必ず登録申請書を福祉課に提出してください。登録申請書は福祉課、各支所に設置予定です。

利用方法　前日の18時までに、直接広島西医療センター（☎㊼7183内線2700）へ。

当日必要な書類　利用申込書、医師連絡票（他の医療機関を受診した場合のみ）を広島西医療センターに提出してください。

3月は自殺対策強化月間

問い合わせ　社会健康課☎㊾2140

日本の年間自殺者数は、平成10年を境に急増し３万人を超え、平成25年（速報値）は累計２万7195人と昨年に引き続き３万人を下回ったものの、依然として高い水準で推移しており、広島県でも毎年600人以上が亡くなっています。

まず知ることからはじめよう

自殺はその多くが追い込まれた末の「死」

自殺に至る心理としては、さまざまな悩みが原因で自殺以外の選択肢が考えられない状態に陥ってしまったり、社会とのつながりの減少や生きていても役に立たないという役割喪失感などから、危機的な状態にまで追い込まれてしまう過程とみることができます。

自殺を図る直前には、大多数の方は、精神疾患などの影響から正常な判断を行うことができない状態になっているため、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、「自殺は、その多くが追い込まれた末の死」ということがいえます。

防ぐことができる社会的な問題

健康問題、家庭問題など自殺の背景、原因となるさまざまな要因のうち、専門家への相談やうつ病の治療について、社会的な支援の手を差し伸べることにより自殺を防ぐことが可能です。

自殺を考えている人は、何らかのサインを発していることが多い

死にたいと考えている人も心の中では「生きたい」という気持ちとの間で激しく揺れ動いており、不眠、原因不明の体調不良など自殺の危険を示すサインを発していることが多くあります。

地域や学校、職場などの周囲の人が自殺のサインに気づき自殺予防につなげていくことも大切です。

気になるサイン

（例）身体の痛み、倦怠感、飲酒量が増える、（以前に比べて）表情が暗い・元気がない

あなたも「ゲートキーパー」

クイズ

Q1　悩んでいる人はそっとしておいてあげた方がいい。

A1　いいえ、温かく声かけしてみてください。悩んでいる人は孤独感があり、悩みを自ら話せない場合も少なくありません。

温かい声かけは、悩んでいる人に安心感を与え、悩みを相談して良いのだ、と思うきっかけともなるため大切なアプローチになります。「よく眠れてる？」「疲れてない？」など、まずは声かけから始めてみましょう。

Q2　「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人のことである。

A2　はい、ゲートキーパーとは、専門的な支援の手前の段階で自殺の危険性に気づき、声をかけたり、話を聴くことを通して、必要な支援に結びつける人のことをさします。

まずは身近な人の心の不調に耳を傾けてみましょう。あなたもゲートキーパーになりませんか。

お気軽にご相談ください

○**こころの電話**
☎082-892-9090
月・水・金曜日　9時～12時、13時～16時30分（祝日および12月29日～1月3日を除く）

○**広島いのちの電話**
☎082-221-4343
24時間年中無休

○**広島県自殺予防いのちの電話**
☎0120-375-568
毎月20日　8時～20時

○**自殺予防いのちの電話**
☎0120-738-556
毎月10日　8時～翌朝8時

○**メンタル・不眠電話相談**
☎0120-927-225
月曜日　9時～13時、火～金曜日13時～17時（祝日および12月29日～1月3日を除く）

※　特別相談
3月2日㈰、3日㈪、4日㈫
9時～17時

○**社会健康課**
☎㊾2140

※　個人情報は厳守されます。